



組立説明書

この度はお買上いただき誠にありがとうございます。

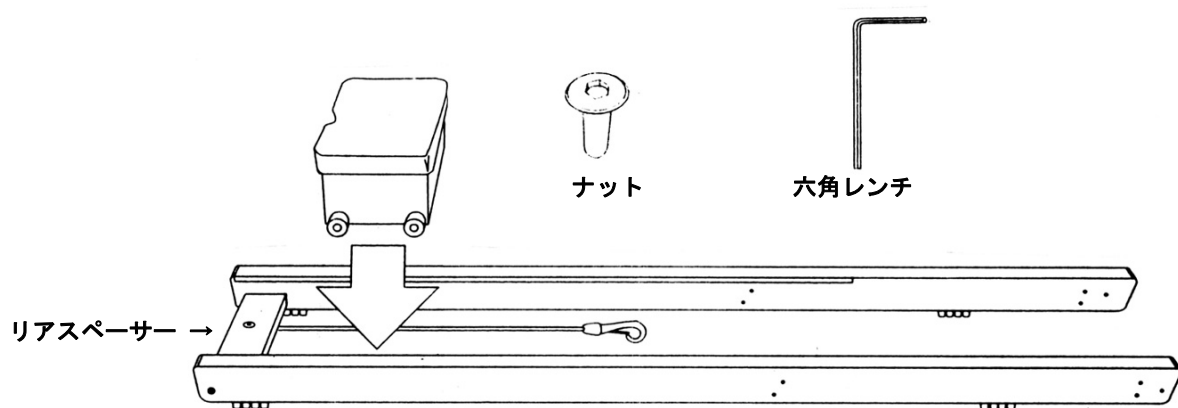
ウォーターローワーは、輸送中の破損防止の為、仮組みの状態で2つの箱に梱包されています。組立ては20分程度で出来ます。

組立時の注意

- このマニュアルの組み立て順に、必ず従ってください。
- 初めてお使いになる場合、使用開始後4～6週間後にボルトの増締めをして下さい。
- ボルトがナットに入れにくい場合は、無理をせずに、一度緩めてからもう一度、締め直して下さい。
- ウォーターローワーの組み立てに問題がある場合は、巻末のトラブルシューティングをご参照下さい。

Step 1

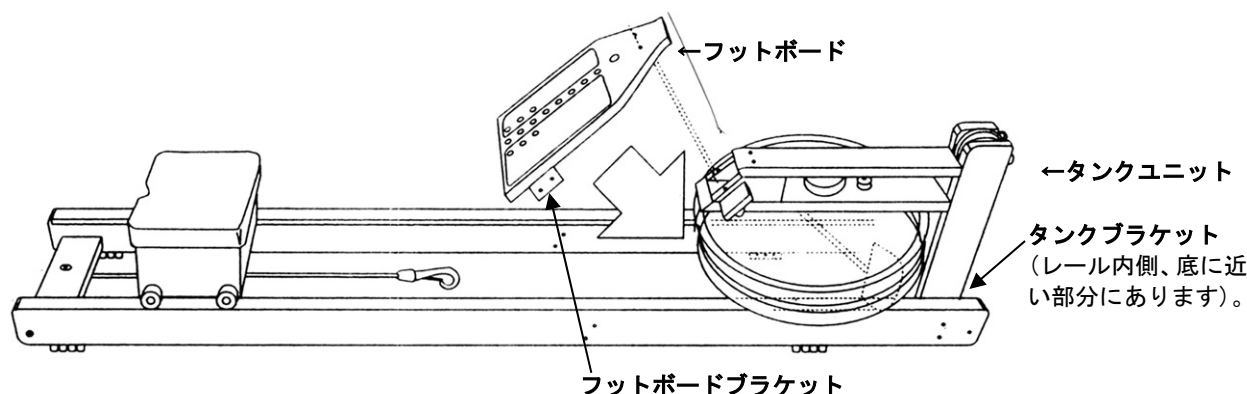
リアスペーサーの裏側にある六角レンチを取り出します（このレンチで全てのボルトを締めます）。2本のレールを床に置き、リアスペーサーをナットで止めます。



シートをレールの溝にはめます：シートのくぼみが後ろ向きになるようにしてください。
このくぼみが尾てい骨を避けます。

Step 2

タンクユニットをタンクブラケット(タンクの柱の下部とレールをつなげる黒いスチール板)に合わせて置き、フットボードはフットボードブラケット(かかと位置裏側の黒いスチール板)とレール側の穴、タンクユニットに合わせて置きます。



Step 3 全体をボルトで締めます(下記 1~4 が終了するまで全ヶ所仮止めします)。

1. B エリア:

ボルトは図のように外側から矢印に向かって入れます。ナットはレールの内側から差込みます(計 4 ヶ所)。

2. C エリアのボルトの止め方:

- タンク上部の上板①の裏側と、上板②の上部に縦穴が 2 ヶ所ずつあります。
- 「円柱型のボルト受けナット」を横穴の向きを合わせて穴に入れます。
- 手でナットを押さえながら、ロングボルトを C 方向から差込み、取り付けます。
- これらのボルトも仮止めのままにしておきます。

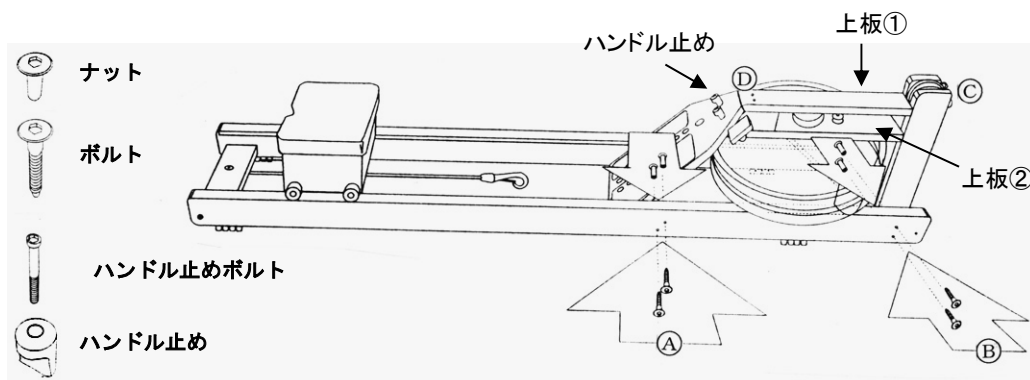
3. D エリア:

2 ヶ所を仮止めします。

4. A エリア:

- まず、A 下側の 2 ヶ所のみボルトをいれ、ナットで仮止めします。
- 次にハンドル止めボルトを使用し、とフットボードとハンドル止めを共締めにしします(タンクユニットに仮止めされます)。
- そして、A の上側 2 ヶ所にボルトを入れ仮止めします。

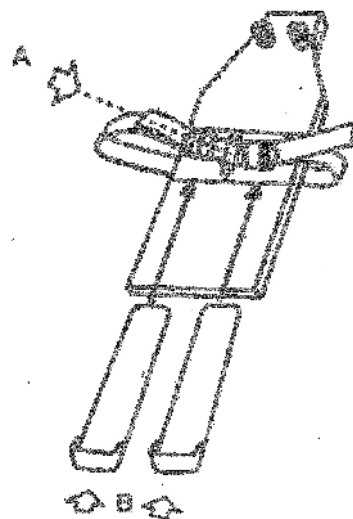
1~4 までの全てのボルトを仮止めした時点で、全てのボルトを増し締めします。この時締めすぎないようにご注意下さい。



Step 4 フットボードをセットします。

A(ストラップをとめている縦長のプラスチック留め具)を押したまま、B(フットパッド)をフットボード上の横長プレートの下にスライドさせます(A を押すとスライド可能になります。)

組み立て後の本体使用の際にかかと位置を決める際も、このAを押すことにより高さ調節が可能となります。

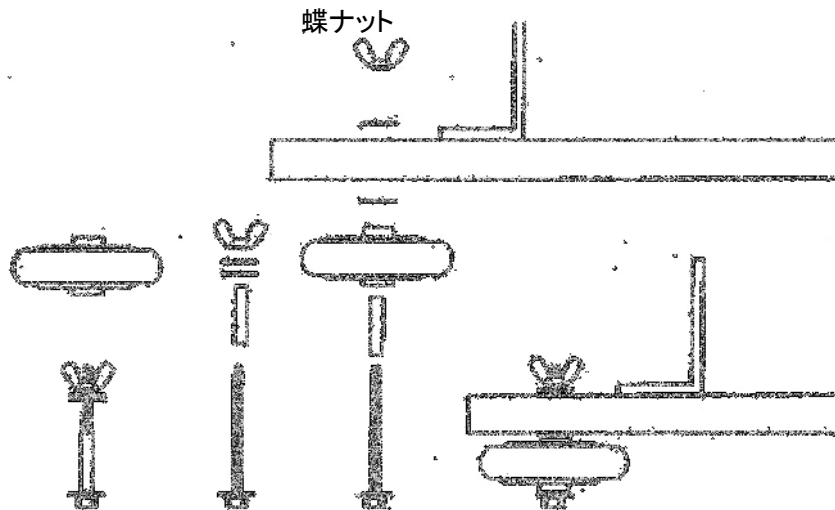


Step 5 レールに車輪を取り付けます。

仮組みしてあるアクセルボルト(タイヤの穴を通るボルト)を一度分解し、図のように車輪をレールに取り付けます。

(図では蝶ナットですが、Step 3 で使用タイプのナットが梱包されています。)

※移動中の事故防止のため、この部分のネジは組み立て完成後も定期的に増し締めしてください。

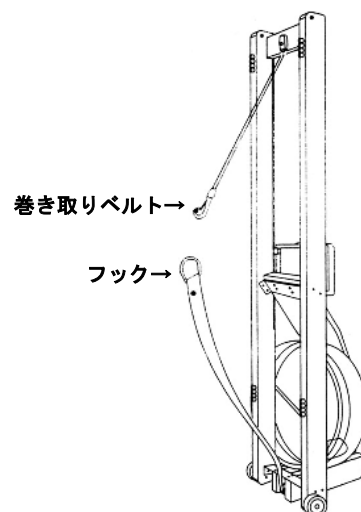


Step 6

ストラップをつなげます。

まず本体を立たせます。

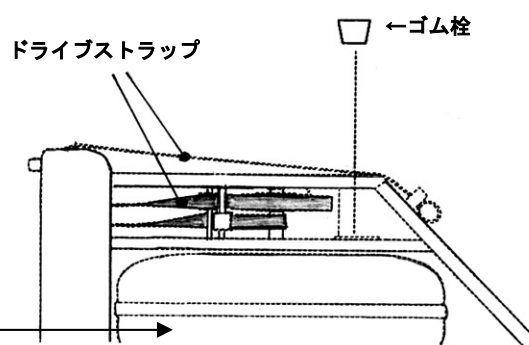
そして図のように、フックをベルトのループに引っ掛けてから再び床に寝かします。



Step 7

ドライブストラップと巻き取りベルトは下記の通りになるよう、確認してください。

- それぞれのストラップは正しい滑車にはまっているか
- クラッチにきつく巻きついているか
- 他の部品と接触しないよう正しく巻けているか



タンクへの水の注水

- まず 14~16 リットルの水（上図水量目安シールまで）をタンクに入れ試し漕ぎをしてください。お好みにより附属のポンプで水量を調節してください。

注意）灯油に使用したポンプは絶対に使用しないで下さい。

水を 16ℓ以上入れないで下さい。漏れる場合がございます。

- 水量決定し、タンクにゴム栓をします。

モニターの電源を入れる

- モニターにはお届け時にすでに電池が装着されており、寿命は約 800 時間となります。
- モニターの使用については、別紙の「S4 モニター 操作手順マニュアル」を必ずご覧の上お使い下さい。

トラブルシューター・組み立て時：

①レールと本体、フットボードをつなげる際にボルトと穴にズレがある場合

1. すべてのボルトを暖めてからもう一度お試しください。
2. それでも合わない場合： 各フットボードブラケット(Step2 参照：フットボード、かかと部分裏側にある黒いスチールの板) とタンクブラケット (Step2 参照：タンク下の黒いスチール板) 裏のボルトを一度スパナで暖め、合わない穴部分に再度ボルトを通せるかどうか見ましょう。(各ブラケットのボルトは後で絞めるのを忘れないようにしましょう。)

②レールとフットボード又はタンクブラケットの穴がかなり大きくずれていて、上記方法を試しても穴が合わない場合： あわない症状がでているブラケットの取り付け位置が上下逆になっている可能性があります。この場合は、ブラケットを正しい方向に直し再度穴位置があうかどうかご確認ください。

トラブルシューター・モニター：

「S4 モニター 操作手順マニュアル」の p10 をご覧下さい。